

2008年8月28日

三菱商事株式会社

三菱UFJリース株式会社

トルコの自動車リース事業に参入

三菱商事および三菱UFJリースは、トルコにおける大手自動車リース（法人向メンテナンス付オペレーティングリース）会社である Ekim Turizm Ticaret Ve Sanayi A.S.（ブランド名 Intercity: 以下 Intercity）に2社合計で45%出資し、同国での自動車リース事業に参入します。

案件の概要

トルコをはじめ、新興国の中には金融インフラが発展途上である地域も多く、ファイナンス（金融仲介機能）に対するニーズは潜在的に高い状況です。中でも、モノを仲介させるアセットファイナンスであるリースに対しては、今後も強い需要が期待できます。

このような状況の下、三菱商事および三菱UFJリースは、トルコ国内の自動車リース業界で最大のシェアを誇る Intercity へ出資を行い、アセットファイナンス事業を推進することにより、同国の経済成長に寄与すると共に、事業としても高収益を確保し、企業価値の向上を目指します。

株式取得後の出資比率は以下の通りです。欧州及びトルコで独占禁止法関連の報告手続きが完了した後、新体制で事業を開始します。

Vural Ak 氏	:	51%	（Intercity 創業者）
三菱商事	:	25%	
三菱UFJリース	:	20%	
国際金融公社	:	4%	（International Finance Corporation（IFC））

トルコの自動車リース事業に参入する背景

トルコは人口7,000万人を有するものの、他欧州諸国と比較すると自動車普及率が低い状況にあります。然しながら、自動車販売台数は飛躍的に伸びており、自動車リースの普及も進んでいることから、今後拡大が期待できるマーケットです。

三菱商事および三菱 UFJ リースの役割・参入の意義

三菱商事は、「金融」を新しい収益の柱として最優先で育成させていく全社推進分野の一つに指定しています。本件は、まさしくこの金融事業の位置付けを踏まえた商社型産業金融ビジネスへの取組みの一環であり、当社のモノやサービスへの知見・ノウハウに加え、全産業領域との接点やグローバルなネットワークを活かし、同社経営を支援していきます。

三菱 UFJ リースは、グローバルベースでの事業展開を重点戦略の一つに掲げております。本件は、当社の新興国に於ける展開を加速させる取組みであり、Intercity のリスクマネジメント・資産管理手法等の向上を図るべく、高度な専門性に基づくリース事業マネジメントノウハウを提供していきます。

更に、三菱商事および三菱 UFJ リースは、本邦自動車リース業界大手の三菱オートリースホールディングに共同出資しており、自動車リース事業経営ノウハウを蓄積しています。今後の Intercity の更なる成長過程において、日本での経験を踏まえた多角的な経営支援を行います。尚、三菱商事及び三菱 UFJ リースから Intercity への人員派遣も予定しており、トルコ及び周辺地域での商圈基盤の強化及び拡大、金融事業における知見の蓄積に寄与していきます。

今後の展開

今回のトルコ自動車リース事業への参入は、サウディアラビア総合リース事業に続く、三菱商事および三菱 UFJ リースのリース事業海外戦略の一環です。トルコでのリース事業展開を通して事業ノウハウを蓄積し、今後も市場ポテンシャルの高い他の海外地域への事業展開も積極的に推進していく予定です。

Intercity 会社概要

本社所在地	トルコ共和国	イスタンブール市
代表者	Vural Ak	
設立	1992 年	
事業内容	自動車リース（法人向けメンテナンス付オペレーティングリース）	
財務情報	売上高	: 105.6 百万米ドル
	当期利益	: 21.6 百万米ドル
	総資産	: 531.8 百万米ドル
	フリート台数	: 21.4 千台
		（財務情報は全て 2007 年 12 月末時点）

現 CEO の Vural Ak 氏を含む現経営陣は全員が現職に留まります。現経営陣は、三菱商事および三菱 UFJ リースを戦略パートナーとして迎えることについて、同社の一層の飛躍をもたらすとして歓迎しており、引き続き同社経営への強いコミットを示しています。

また、IFC（国際金融公社）は 2005 年に Intercity 社に出資して以来、資金面を含め同社を支援してきましたが、今後も引き続き支援を継続していきます。

以 上